

平成31年度

適性検査Ⅰ

注 意

- 1 問題は [1] から [5] までで、17ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は45分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけ提出**しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 **性別・受検番号**は解答用紙の決められた欄^{らん}2か所に必ず記入しなさい。

さいたま市立浦和中学校

1

花子さんは、図書館で面白^{おもしろ}そうなタイトルの小説を見つけたので、読んでみることにしました。

次の文章は、にしがきようこ^{ちよ}著『ピアチェーレ 風の歌声』（小峰書店）の一部です。これを読んで、次の問1～問4に答えなさい。

13^{さい}歳の嘉穂^{かほ}は、祖父母とおばの住む家で、弟の穂高^{ほたか}とともに暮^くらしています。歌を習っている嘉穂は、合唱コンクールにソロで出場することになり、おばにつきそわれてリハーサルにのぞみましたが、自分としては、それほどうまく歌えませんでした。

にしがきようこ著「ピアチェーレ 風の歌声」小峰書店
161ページ6行目から165ページ7行目の文章による。

著作権法上の都合により、掲載できません。

(一部省略や、ふりがなをつけるなどの^{へんこう}変更があります。)

- ※1 古文書…古い文書。
- ※2 静観…何もしないで、なりゆきをじっと見守っていること。
- ※3 判然…はっきりしている様子。
- ※4 キャン…飼っている犬。
- ※5 唐突に…前後のつながりもなく、とつぜんである様子。

問1 下線部①「声^{こゑ}がとがっていた」という表現の意味を、花子さんは別の言葉で表そうとしています。最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア いらだち イ 喜び ウ にくしみ エ するどさ

問2 下線部②「『え?』』と言ったときの嘉穂の気持ちを花子さんは考えてみました。この時の嘉穂の気持ちを説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 上手に歌えなかったとはいえ、一人で歌を歌うことはすごいことだと思っていたのに、おじいちゃんに「たいしたことはない」と否定されてしまってがっかりしている。
- イ 歌が上手に歌えなかったことで落ち込み、なぐさめの言葉なんか聞きたくないと思構えていたところ、おじいちゃんの言葉が予想外なものだったのでおどろいている。
- ウ 歌が上手に歌えなかったことをその場にいなかったおじいちゃんには知らないはずなのに、自分の気持ちを察し、なぐさめてくれているのでありがたく思っている。
- エ 嘉穂の歌のことなど、おじいちゃんには興味がないと思っていたのに、おじいちゃんの言葉から、そうではなかったことがわかってうれしくなっている。

問3 下線部③「帰ってきた時と別人のように、心も体も軽い」という表現は、嘉穂の気持ちに変化があったことを表していると、花子さんは思い、次のようにまとめました。【花子さんが思ったこと】にある空らん にあてはまる内容を、本文中の言葉を使って10字以内で書きなさい。

【花子さんが思ったこと】

帰ってきたときの嘉穂は、自分では自信があったはずの歌が上手に歌えなかったことに落ち込んでいたが、おじいちゃんと話をしているうちに、うまく歌えなくても何が変わるわけでもないので、 と思えるようになり、気持ちが前向きになっている。

問4 部分について、この光景を見ているときの嘉穂の気持ちを花子さんは考えてみました。最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 一人ひとりが自分の好きなことをやる、さわがしいけれども笑顔が絶えない明るい家族がいることをほこらしく思っている。
- イ 嘉穂が握ったおにぎりを家族みんなで仲良く食べられることを幸せに思い、合唱コンクールのがどうでもよくなっている。
- ウ いやなできごとがあっても、自分をあたたかく見守ってくれる家族と過ごす日常があることに、ほっとした気持ちになっている。
- エ 祖父母とおばの住む家で暮らしている自分は毎日、ここが自分の居場所であることとこの家の良さを実感しつつ、穂高も同じ思いであることを知り、安心している。

2

太郎^{たろう}さんは、作文の書き方について先生に相談したところ、先生から次の本を紹介^{しょうかい}されました。

次の文章は、森博嗣^{もりひろしちよ}著『読書^{かち}の価値』(NHK出版)の一部です。これを読んで、次の問1～問4に答えなさい。

森博嗣著「読書の価値」NHK出版
137ページ2行目から139ページ11行目の文章による。

著作権法上の都合により、掲載できません。

(一部省略や、ふりがなをつけるなどの^{へんこう}変更があります。)

- ※1 母国語…自分が生まれた国や所属している国の言葉。
- ※2 デッサン…形をとらえることに重点をおいて描いたもの。
- ※3 シフト…切り替^きえ^かえること。

問1 下線部①「声が文字にそのまま変換されているにすぎない」ということを、太郎さんは次のようにまとめました。【太郎さんのまとめ】にある、空らん にあてはまる内容を、本文中からさがして5字で書きぬきなさい。

【太郎さんのまとめ】

をそのまま文字として書いただけで、文章にはなっていないということ。

問2 下線部②「文章はここで飛躍しなければならない」について、太郎さんは、この内容について考えてみました。最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 話し言葉で書いた文章から書き言葉で書いた文章になること。
- イ 声をそのまま文字にした文章から「てにをは」が整った文章になること。
- ウ 自分だけがわかっている文章から読んだ人にわかる文章になること。
- エ 状況を知らない人に伝える文章から状況を知っている人に伝える文章になること。

問3 下線部③【『視点』のシフト】について、太郎さんは筆者が「絵」を例に取り上げて、^{ろん}論を進めていることに気づきました。この場合の【『視点』のシフト』の方法】にある空らん にあてはまる内容を、本文中からさがして15字で書きぬきなさい。

【『視点』のシフト』の方法】

デッサンの狂いがないかを判別するために、 こと。

問4 太郎さんは、この本を読んだ感想文を書こうとして【太郎さんの書いた感想文】のように書き出しました。すると、太郎さんは、この文が読み手によっては2通りの意味にとれることに気づきました。この文が、どのような意味とどのような意味にとれるのかについてわかるように、【太郎さんが気づいたこと】にあるア、イの文の空らん 、 にあてはまる内容をそれぞれ書きなさい。

【太郎さんの書いた感想文】

「わたしは先週先生に紹介してもらった『読書の価値』という本を読みました。」

【太郎さんが気づいたこと】

ア、イの2通りの意味にとれることが分かりました。

ア 『読書の価値』という本を という意味にとれる。

イ 『読書の価値』という本を という意味にとれる。

3

花子さんは、図書館に行った時に、面白い本を見つけたので読んでみました。内容も良かったので、国語の時間に発表することにしました。

次の文章は、汐見稔幸著『人生を豊かにする学び方』（筑摩書房）の一部です。これを読んで、次の問1～問4に答えなさい。

汐見稔幸著「人生を豊かにする学び方」筑摩書房
120ページ6行目から122ページ10行目の文章による。

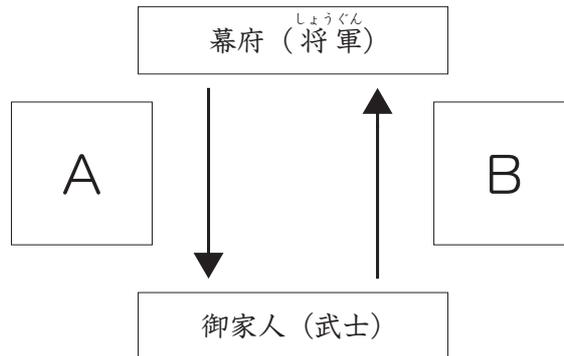
著作権法上の都合により、掲載できません。

(一部省略や、ふりがなをつけるなどの変更があります。)

- ※1 ディスカッション…ある問題について、互^{たが}いに意見を述べ合うこと。
- ※2 人格形成…人がらや人間性を形づくること。
- ※3 拠点…活動の足場となる重要な場所のこと。

問1 本を読んだ花子さんは、下線部①「源頼朝が鎌倉に幕府を立ち上げた」ことに興味をもち、調べてみました。そして、幕府と御家人^{ごけにん}の関係に注目し、【花子さんのノート】にまとめてみました。このノートを完成させるとき、**A**、**B**にあてはまる最も適切なものを、下のア～エの中から1つずつ選び、記号で答えなさい。

【花子さんのノート】



幕府（将軍）は御家人（武士）に対し、御家人（武士）の持つ土地を守ったり、新しい土地を与えたりしました。御家人（武士）は幕府（将軍）に対し、戦いのときに「いざ鎌倉」といって鎌倉へかけつけ、幕府（将軍）のために命がけて戦いました。

ア

自分の持つ土地と鎌倉とを1年ごとに行き来する。

イ

幕府のために戦ったり、鎌倉のけい備をしたりする。

ウ

ガラスなどの貴重な品物を幕府に納める。

エ

領地を与えたり、領地を守ったりする。

問2 源頼朝が幕府をつくった鎌倉は、切り通しが多くあり、下線部②にあるように「攻め込みにくい場所」と本に書かれていました。花子さんは、なぜ、切り通しは攻め込みにくいと言われるのかを考えてみました。資料をもとに、その理由を10字以上18字以内で書きなさい。

資料 切り通しの写真



問3 下線部③「人生を変えてくれるような深い学び」とは、筆者の言う「学び」のどの段階であるか、書きなさい。

問4 次のア～ウの文は、別の機会に花子さんが国会議事堂の歴史について調べたときの花子さんの様子をまとめたものです。「端緒知」「実践知」「人格知」に分けるとすると、どれにあてはまりますか。次のア～ウの記号を使って、答えなさい。

ア 社会の授業で国会のことを勉強しているとき、国会は国会議事堂で開かれていることを知った。

イ 歴史には興味はなかったが、国会議事堂を訪問して、歴史を調べていくうちに、歴史を学ぶことが楽しくなった。

ウ 国会議事堂をおとずれたときに、この建物についてより深く調べたくなり、図書館に行って調べた。

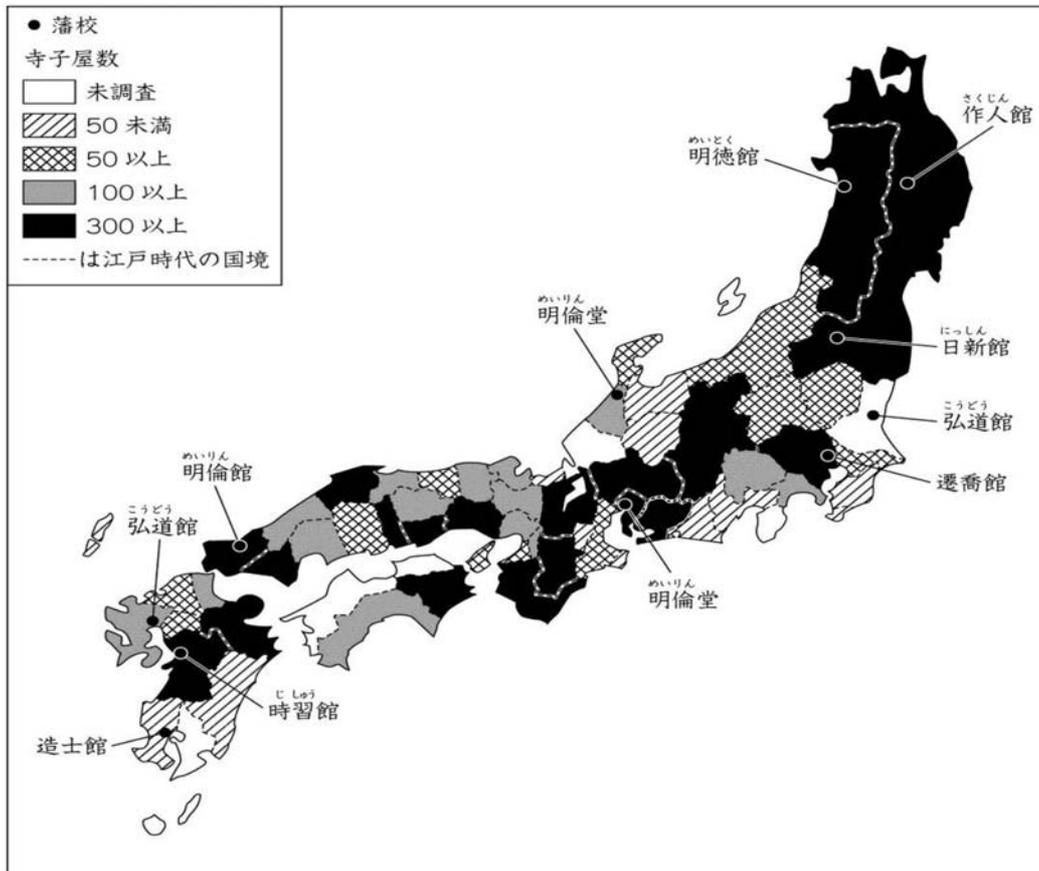
太郎さん、花子さん、次郎さんは、総合的な学習の時間にさいたま市の歴史について調べ学習をして、発表をすることになりました。

次の問1～問4に答えなさい。

問1 太郎さんは、さいたま市の歴史的な建物について調べていると、遷喬館という埼玉県内では唯一現存する藩校の建物があることがわかりました。そこで太郎さんは、江戸時代後期にできた全国の藩校と寺子屋について調べ、資料1を見つめました。資料1から読み取ることができるものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 現在の愛知県では、江戸時代後期、寺子屋数が100未満であった。
 イ 寺子屋数が未調査の国は、日本海側に多い。
 ウ 現在の鹿児島県には、江戸時代後期、造士館という藩校が設置されていた。
 エ 現在の四国地方には、江戸時代後期、藩校が多く設置されており、寺子屋は設置されていなかった。

資料1 おもな藩校と寺子屋数（江戸時代後期）



(石川謙著「日本庶民教育史」をもとに作成)

問2 花子さんは、さいたま市の農業の歴史を調べてみると、見沼代用水があることがわかりました。花子さんは、江戸時代に、見沼代用水が作られたことによって、見沼田んぼの周辺地域には、土地利用と農業生産の2つについて、どのような変化が起こったか考えてみました。

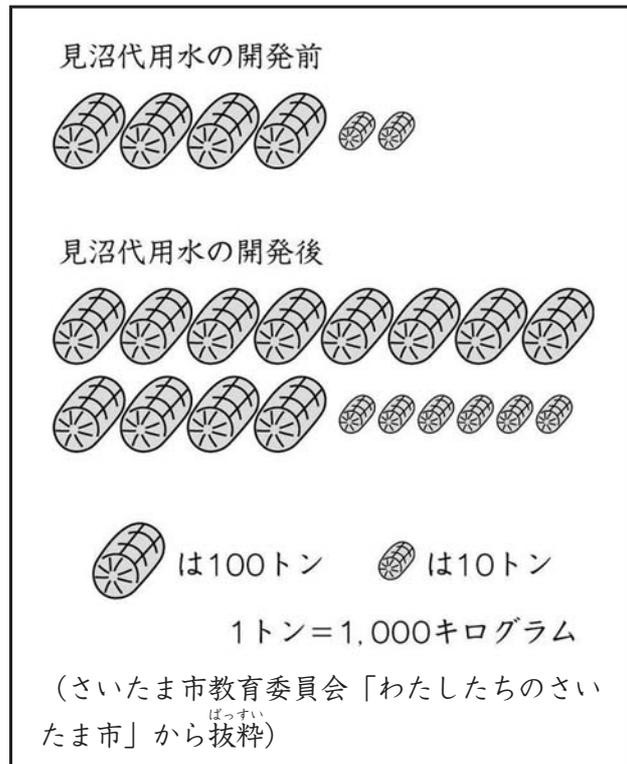
資料2、資料3の2つの資料から、【花子さんの考え】にある空らん にあてはまる内容を20字以内で書きなさい。

資料2 見沼代用水と見沼田んぼ

見沼代用水は、1728年に利根川から農業用水路として引かれました。この見沼代用水によって埼玉郡・足立郡の両郡内303か村の耕地に水が供給されました。見沼代用水の造成にともない、周辺の村と江戸の町人によって1,200町歩の新しい田が開発されました。また、沼地の干拓を行ったことにより600町歩の新田がひらかれ、これらをあわせて見沼田んぼといえます。

(吉川弘文館「国史大辞典」をもとに作成)

資料3 見沼田んぼの米のとれ高の変化



- ※1 埼玉郡…武蔵国（現在の埼玉県・東京都・神奈川県の一部）北東部にあった郡。現在のさいたま市では岩槻が埼玉郡にあたる。
- ※2 足立郡…武蔵国北部にあった郡。現在のさいたま市では岩槻を除く地域が足立郡にあたる。
- ※3 造成……土地を開発して造りあげること。
- ※4 町歩……広さを表す単位。1町歩は約1ヘクタール。
- ※5 田地……田として利用している土地。

【花子さんの考え】

見沼代用水が新しくつくられたことにより、見沼田んぼの周辺地域は 。

問3 次郎さんは、さいたま市の農業の歴史について調べ、農業の現状について、パネルを使って発表することになりました。【次郎さんが作成したパネル】の空らん に書かれていると思われる内容として適切なものを、資料4を参考に、次のア～カの中からすべてを選び、記号で答えなさい。

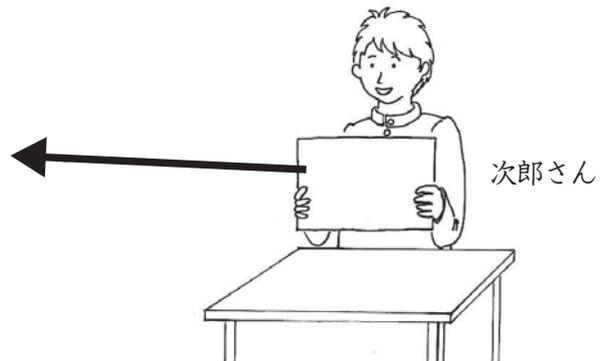
- ア 農家人口は増加し、耕地面積は減っている。
- イ 農家人口は減少し、耕地面積は増えている。
- ウ 田が約7割^{わり}減少し、畑も約4割減少している。
- エ 農家人口は増加し、耕地面積も増えている。
- オ 農家人口は減少し、耕地面積も減っている。
- カ 田が約3割減少し、畑は約2割増加している。

【次郎さんが作成したパネル】

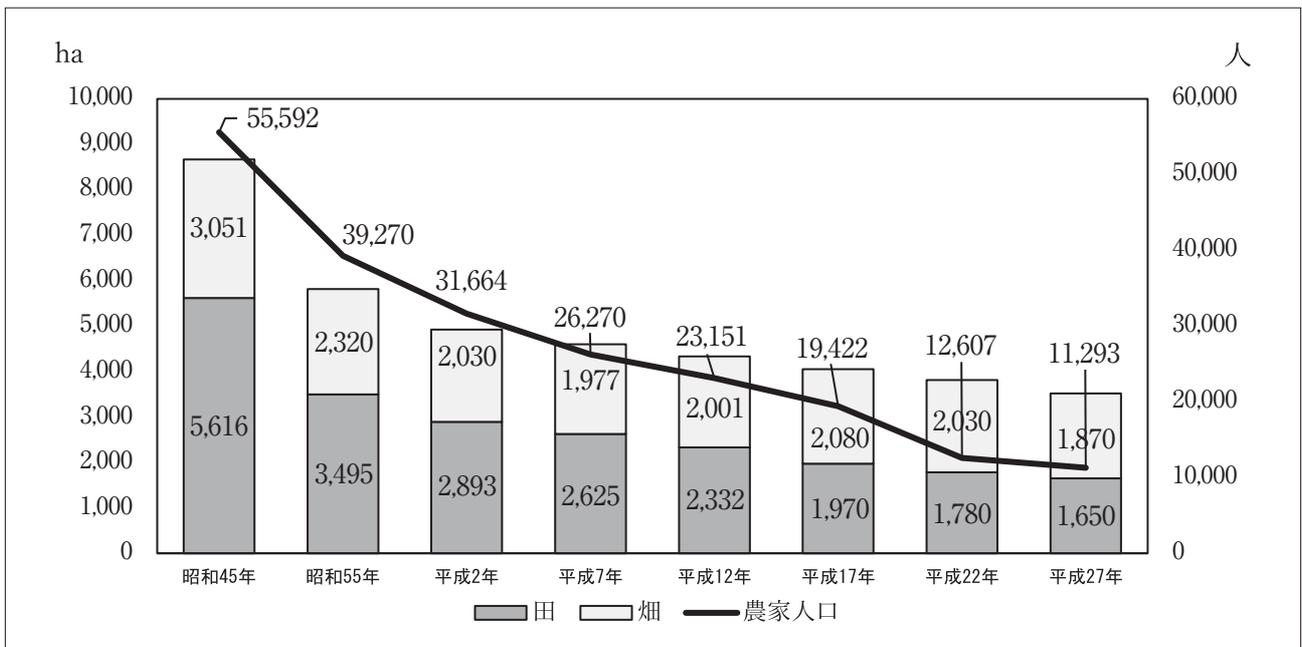
Q：平成27年のさいたま市の農業は？

A：昭和45年当時と比べると、

B



資料4 さいたま市の耕地面積と農家人口の推移



(さいたま市「さいたま市の農業」をもとに作成)

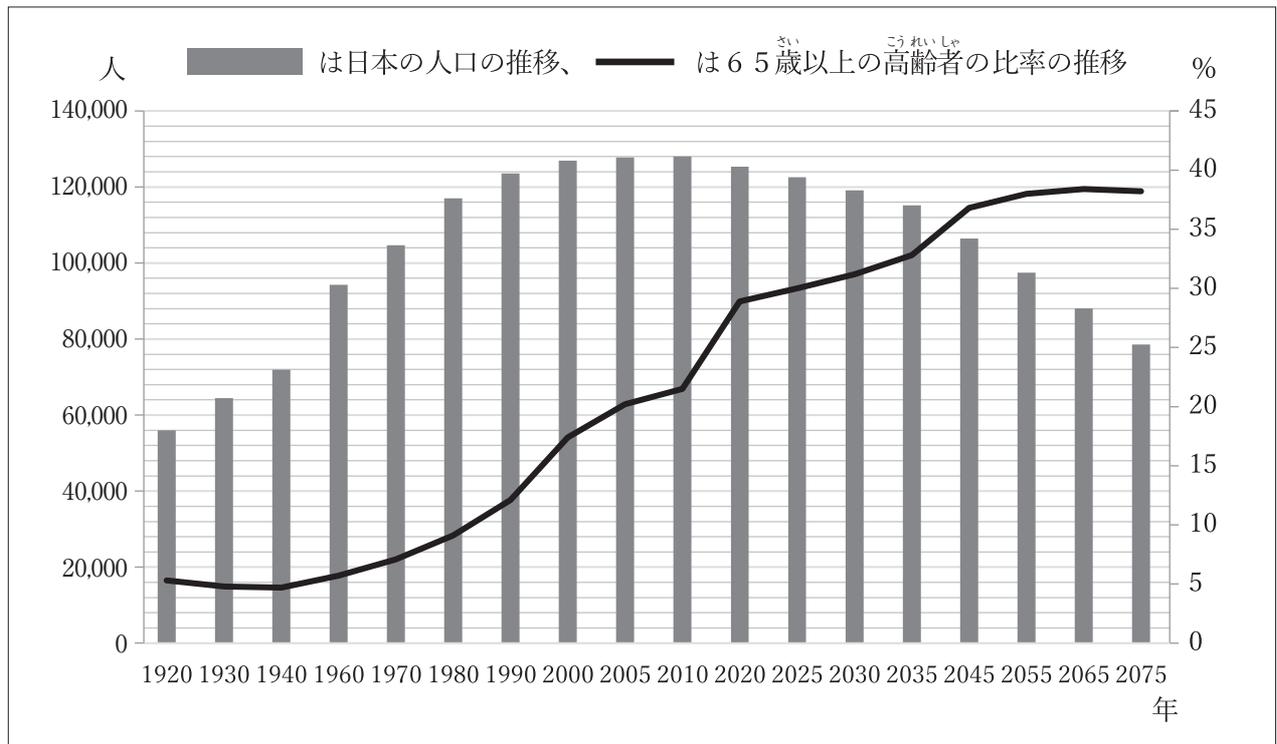
5

花子さんの班では、総合的な学習の時間に、人口の推移について調べることになりました。

次の問1～問4に答えなさい。

問1 花子さんは、日本の人口がどう変化してきたかを調べていると、資料1を見つけました。資料1からどんなことが言えるかを、班で話し合いました。日本の人口について正しく読み取って考察しているのは誰ですか。【話し合いの様子】に登場する4人の中から一人選び、名前を答えなさい。

資料1 日本の人口の推移と将来推計



(総務省統計局「日本の統計」をもとに作成)

【話し合いの様子】

花子さん：日本の総人口は2010年をピークに減少に転じているけれど、将来は増えると予想されているね。

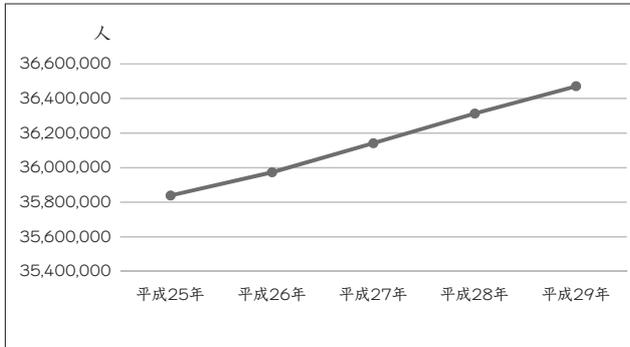
太郎さん：日本の総人口は2020年まで増加しているけれども、将来は減少すると予想されているよ。

明子さん：65歳以上の高齢者の比率は1920年から着実に増え続け、将来も増え続けると予想されているね。

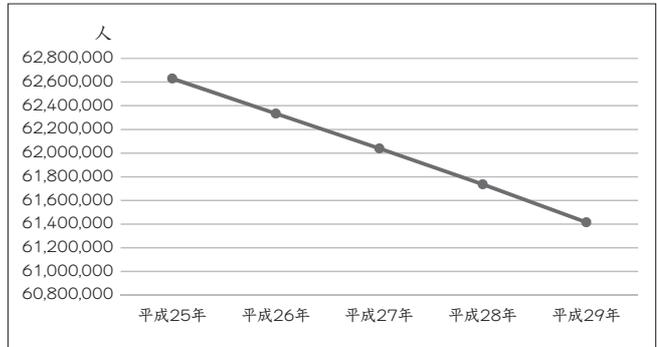
次郎さん：65歳以上の高齢者の比率は2025年ころを境に総人口の3割を超えると予想されているね。

問2 花子さんは、人口の増減が、日本の各地方で違いがあるのか調べてみようと思い、資料2、資料3、資料4を見つけました。花子さんは、集めた資料から、地域によって人口の変化に違いがあるかについて考えてみました。【花子さんの考え】にある空らん 、 にあてはまる内容として最も適切なものを、次のページにあるア～エの中から1つずつ選び、記号で答えなさい。

資料2 ※1 東京圏の人口推移



資料3 ※2 地方圏の人口推移

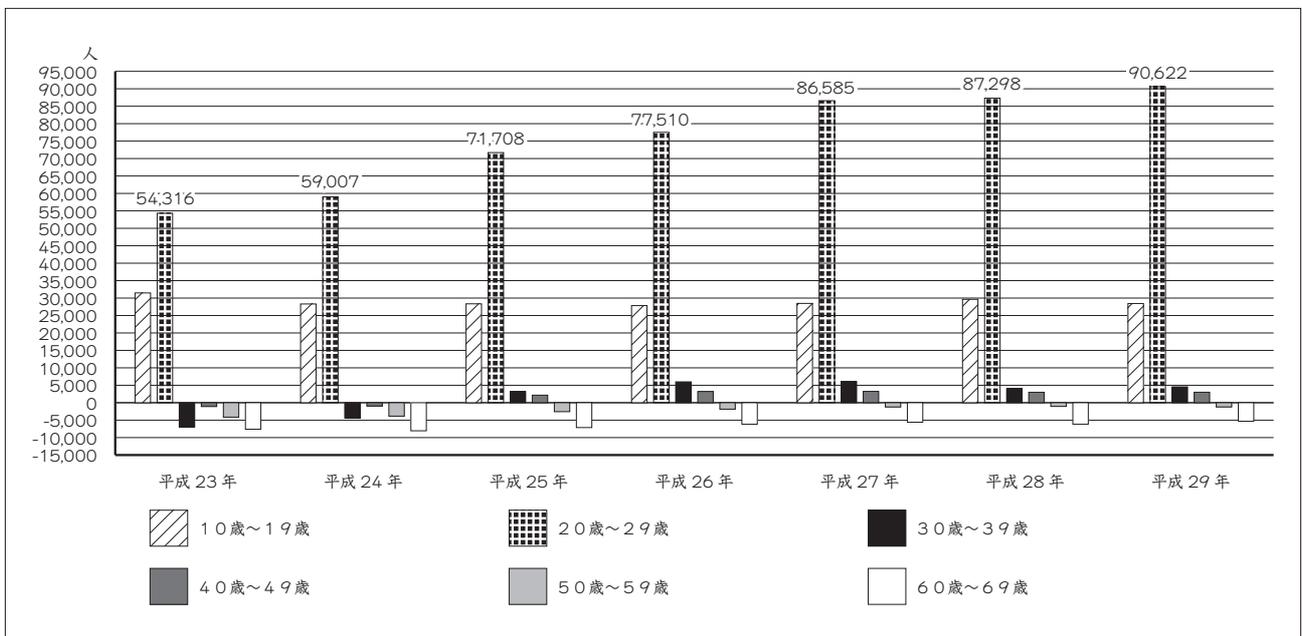


(資料2及び資料3は総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」をもとに作成)

※1 東京圏…埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県

※2 地方圏…東京圏・名古屋圏(岐阜県・愛知県・三重県)・大阪圏(京都府・大阪府・兵庫県・奈良県)以外の地域

資料4 ※3 東京圏の年齢別転入超過数の状況(2017年)



(総務省「住民基本台帳人口移動報告」をもとに作成)

※3 転入超過…一定期間における転入・転出による人口の動き。

【花子さんの考え】

東京圏の人口は、 しており、平成23年～平成29年にかけて、 。

の^{せんたくし}選択肢

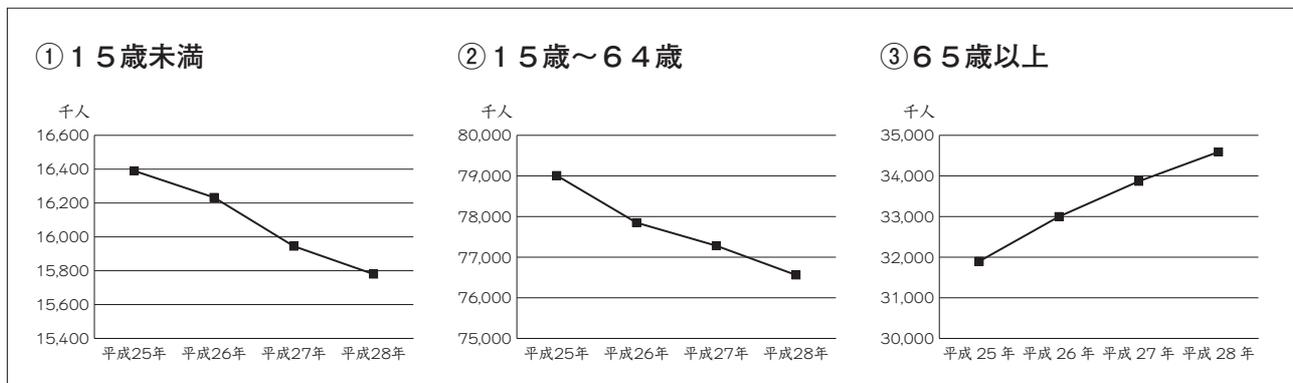
- ア 地方圏の人口とは逆に増加
- イ 地方圏の人口と同じく増加
- ウ 地方圏の人口とは逆に減少
- エ 地方圏の人口と同じく減少

の選択肢

- ア 20歳～29歳の人たちで東京圏に入ってくる人の数は年々増えており、同様に10歳～19歳の人たちも東京圏に入ってくる人の数は年々増えている。
- イ 20歳～29歳の人たちが一番多く東京圏に入ってきており、次に40歳～49歳の人たちが、多く東京圏に入ってきている。
- ウ 20歳～29歳の人たちが多く東京圏に入ってきているが、東京圏から出ていく人は、60歳～69歳の人たちが一番多い。
- エ 20歳～29歳の人たちが多く東京圏に入ってきているが、30歳～39歳の人たちは、平成24年から多くの人東京圏に入ってくるようになった。

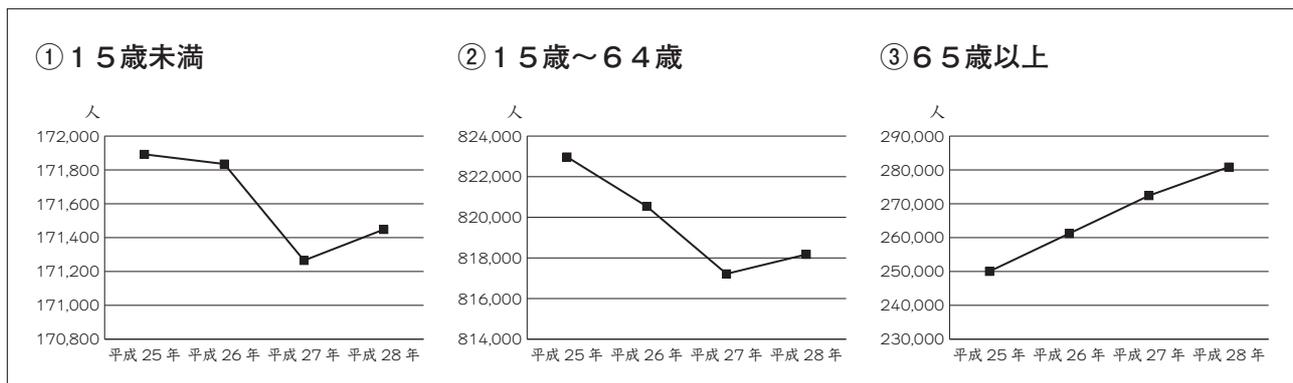
問3 花子さんは、さいたま市の人口の変化について興味を持ち、日本の人口の変化と比べることにしました。花子さんが見つけた資料5、資料6を参考に、【花子さんの考え】にある空らん と について、あてはまる内容を書きなさい。
 なお、 については、6字以上で書きなさい。

資料5 日本の年齢別人口の推移



(総務省統計局「人口推計」(平成28年10月1日現在)をもとに作成)

資料6 さいたま市の年齢別人口の推移



(さいたま市「さいたま市統計書(平成29年版)」をもとに作成)

【花子さんの考え】

資料5、資料6において、日本の高齢者の比率が高いと言われ、65歳以上の人口は、日本もさいたま市も同じように しています。

また、日本の15歳未満の人口と15歳～64歳までの人口の推移は、年々減少していますが、さいたま市では、 しています。

問4 花子さんは、さいたま市の高齢者の人口割合がどのようになっているかについても調べようと思
い、資料7を見つけて、まとめてみました。

【花子さんのまとめ】にある空らん にあてはまるものとして最も適切なものを、
下のア～ウの中から1つ選び、記号で答えなさい。

資料7 さいたま市の人口（2018年11月現在）

（単位：人）

	男	女	合計
14歳以下	88,320	83,628	171,948
15歳～64歳	426,812	405,234	832,046
65歳以上	132,885	164,351	297,236
人口総数	648,017	653,213	1,301,230

（さいたま市「さいたま市の人口・世帯（平成30年）」をもとに作成）

【花子さんのまとめ】

今まで、日本の人口の推移や東京圏への人口移動の様子、日本とさいたま市の人口移動の様子を見てきました。60年ほど前の日本は、お年寄りの割合は少なめでした。その後、医療の進歩などにより、日本人の平均寿命はのびて、65歳以上の人口の割合が増えてきました。このような「高齢化」は今後も進んでいくとされています。

資料7を見てください。さいたま市の様子を見てみると、65歳以上の人口は、約297,000人で、14歳以下の人口である、約172,000人の約1.7倍になっています。

わたしは、高齢化の進行具合を示す言葉として、ある資料に以下の用語を見つけました。

- ア 高齢化社会・・・65歳以上の人口の割合が7%以上14%未満の社会
- イ 高齢社会・・・65歳以上の人口の割合が14%以上21%未満の社会
- ウ 超高齢社会・・・65歳以上の人口の割合が21%以上の社会

これによると、さいたま市は にあたります。

さいたま市では、高齢者が増えていくと思われるので、今後も福祉に関する取組を充実させてもらいたいと思います。

これで、問題は終わりです。

